

事務事業名		塩谷町上水道経営変更認可申請事務				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	0:5: 地域づくり・地域環境ランド				所属課	建設水道課	担当	水道事業担当	
	施策名	2:7: 安全で安定した水の供給				課長名	斎藤 久雄	担当者名	石川 誠	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	水道法・塩谷町給水条例	
		1	4	1	0	1	0			
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (		年度~	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 平成25年度の尚仁沢川からの水利使用許可申請において取水量(一日最大2,500m<sup>3</sup>/日)を変更するため、現認可(一日最大10,000m<sup>3</sup>/日)の変更が条件となる。 現在の尚仁沢川からの取水量は一日最大取水量100m<sup>3</sup>/日前後で鳥羽新田浄水場に送られており、現事業認可の10,000m<sup>3</sup>/日と掛け離れた水量となっている。</p> <p>2 概算事業費 塩谷町上水道経営変更認可申請書作成業務委託費 10,000千円(経営の見直し内容によって変動)</p>								

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 塩谷町上水道経営変更認可申請等		名称	単位
		ア 申請件数	件
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 平成17年度に鳥羽新田浄水場の運営を開始、尚仁沢から水道水源として取水し玉生地域の一部に給水している。		名称	単位
		ア 尚仁沢川取水量(現認可)	m <sup>3</sup>
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載) 現事業認可の計画を見直し現状にあった認可を受ける。		名称	単位
		ア 適正な取水割合(適正取水量/現認可可取水量)	%

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	0	1				
	イ	実績値	0					
対象指標	ア	目標値	2,500	2,500				
	イ	実績値	10,000					
成果指標	ア	目標値	100	100				
	イ	実績値	25					

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		10,000			
	事業費計(A)	千円	0	10,000	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		2			
	延べ業務時間	時間		352			
	人件費計(B)	千円	0	1,408	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	11,408	0	0	0

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	水道事業を町営で行っているため、施設維持・生活用水等の確保が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	国交省からの実態にあった取水量による申請要請に伴い、町上水道経営認可状況と整合性を図る為。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	今後の経営計画の見直し状況に応じ対応可能	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	事業経営全般に係る申請であり公平性は保たれている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 24 年 11 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業